

問1 天候不順によって野菜の収穫量が大幅に減少し、市場に出回る量が消費者の買い希望量を大きく下回った場合、市場価格にはどのような影響が出ると考えられるか。その理由とともに説明したものを選びなさい。（2021年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 需要量が供給量を上回る状態となるため、より高い価格でも購入しようとする動きが強まり、価格は上昇する。 | 2. 供給量が需要量を上回る状態となるため、商品の希少価値が下がり、価格は下落する。 | 3. 需要量と供給量がともに減少することで市場が停滞するため、価格は変化しない。 | 4. 供給量が減少しても需要量が一定であれば、売り手はより多くの商品売るために価格を下落させる。 |
|---|--|--|--|

問2 外国為替相場において、それまで1ドル=100円で取引されていた状態から、1ドル=120円で取引される状態へと変化した。このように、他国の通貨に対して円の価値が下がることを何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|------------|-------------|
| 1. 円安 | 2. 円高 | 3. デフレーション | 4. インフレーション |
|-------|-------|------------|-------------|

問3 経済において「デフレスパイラル」と呼ばれる現象が起こる際、そのメカニズムとして最も適切な説明はどれですか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 物価の下落によって企業の利益が減り、家計の所得が減少することで、さらに需要が減って物価が下がる。 | 2. 物価の上昇によって家計の支出が増え、企業の生産が追いつかなくなることで、景気が過熱する。 | 3. 不景気であるにもかかわらず、輸入原材料の価格高騰によって物価が上昇し続け、国民の生活が圧迫される。 | 4. 政府が公共投資を急激に増やすことで、通貨の価値が下がり、貨幣供給量が増大して物価が急騰する。 |
|---|---|--|---|

問4 景気変動や市場の動きを示すモデルにおいて、企業の生産活動が活発になり、生産量が家庭などの消費量を上回っている「供給過剰」の状態になったとき、市場価格にはどのような影響が出ると考えられますか。（2023年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 売り手による価格競争が起こり、価格は下落する傾向にある。 | 2. 商品の希少価値が高まるため、価格は上昇する傾向にある。 | 3. 需要量と供給量が一致するよう、国が価格を高く設定する。 | 4. 供給量に関わらず、消費者の需要が急増するため価格は一定に保たれる。 |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|

問5 現代の日本の消費生活における変化と課題について述べた文章のうち、誤っているものはどれかを選びなさい。（2015年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 24時間営業の店舗の普及は、消費者の利便性を高める一方で、深夜労働の増加やエネルギー消費の増大といった側面も持っている。 | 2. インターネット通販の普及により、店舗に足を運ばなくても商品を購入できるようになったが、現物を確認できないことによるトラブルも発生している。 | 3. キャッシュレス決済の進展は、現金を扱う手間を省く便利な仕組みであるが、カードの使いすぎによる自己破産などの問題も依然として存在する。 | 4. コンビニエンスストアや大型ショッピングセンターの増加は、地域コミュニティの中心であった商店街の活性化を直接的に後押ししている。 |
|---|--|---|--|

問6 コンビニエンスストアなどの小売店において、商品のバーコードをレジで読み取ることで、「いつ」「どの商品が」「どの価格で」売れたかという情報をリアルタイムで集計し、在庫管理や商品開発に活用する仕組みを何といいますか。（2023年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|
| 1. 販売時点管理システム（POSシステム） | 2. 電子商取引（eコマース） | 3. 高度道路交通システム（ITS） | 4. 電子データ交換（EDI） |
|------------------------|-----------------|--------------------|-----------------|

問7 独占禁止法が「独占や寡占の防止」を目指し、「自由で公正な競争」を促進しようとする理由として、市場経済の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 企業が競争することで、価格が抑えられ、より良い商品やサービスが提供されるようになるから | 2. 欠陥のある商品によって消費者が被害を受けた際、企業の過失を問わず賠償させるため | 3. 経済的に弱い立場にある労働者の権利を保護し、賃金などの労働条件を維持するため | 4. 輸入品に対して高い関税をかけることで、国内の産業を保護し発展させるため |
|--|--|---|--|

問8 東京都中央卸売市場における、ある年のりんごの出荷量と価格の相関について説明した文として、適切なものを選びなさい。なお、この年の統計では、出荷量が急減する5月から8月にかけて価格が最も高くなり、出荷量が最大となる11月頃に価格が最も安くなっています。（2021年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 出荷量が少ない時期は需要に対して供給が不足するため、市場価格が上昇した。 | 2. 出荷量が多い時期は供給が需要を大きく上回るため、市場価格が上昇した。 | 3. 出荷量が少ない時期は需要が供給を下回るため、市場価格が下落した。 | 4. 農産物の市場価格は一年を通じて一定に保たれるよう、出荷量に関わらず固定されている。 |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 需要量が供給量を上回る状態となるため、より高い価格でも購入しようとする動きが強まり、価格は上昇する。	商品の供給量が需要量を下回っている状態を「超過需要」と呼びます。この場合、商品を手に入れたいと考える人が多いため、買い手同士の競争が起こり、市場価格は均衡価格に向かって上昇することになります。このように、需要と供給のバランスの変化が価格を動かす要因となります。
問2	答え 1 円安	1ドルを手に入れるためにより多くの円（100円から120円へ）を支払う必要があるということは、円の購買力が相対的に低下したことを意味します。この状態を「円安」と呼びます。逆に、必要な円が少なくなることを「円高」と呼び、為替相場は常に変動しています。
問3	答え 1 物価の下落によって企業の利益が減り、家計の所得が減少することで、さらに需要が減って物価が下がる。	デフレスパイラルは、物価の下落が企業の売上減少を招き、それが従業員の賃金カットや失業率の上昇につながり、結果として消費がさらに落ち込んで再び物価が下がるという連鎖的な仕組みを指します。選択肢にある「不景気なのに物価が上昇する」現象はスタグフレーションと呼ばれ、デフレスパイラルとは逆の動きとなります。
問4	答え 1 売り手による価格競争が起こり、価格は下落する傾向にある。	市場において供給量が需要を上回っている状態では、商品が売れ残るため、売り手は価格を下げてでも売ろうとします。このように需要量に対して供給が多すぎる場合には、価格は下落する方向に動きます。反対に、需要が供給を上回る「供給不足（需要過剰）」の状態では、価格は上昇します。このように、需要と供給のバランスによって価格が自動的に調整されるのが市場経済の仕組みです。
問5	答え 4 コンビニエンスストアや大型ショッピングセンターの増加は、地域コミュニティの中心であった商店街の活性化を直接的に後押ししている。	コンビニエンスストアや大型ショッピングセンターの進出は、多くの場合、地域の伝統的な商店街にとって競合となり、客足が遠のく原因となります。これにより商店街の店舗が閉鎖し、いわゆる「シャッター通り」となる現象が全国各地で社会問題となっており、活性化を後押ししているという説明は実態と異なります。他の選択肢は、現代の消費生活における利便性の向上とその背後にある課題を正しく説明しています。
問6	答え 1 販売時点管理システム（POSシステム）	レジでの会計時に商品の情報を収集するこの仕組みは、日本語で「販売時点管理システム」と呼ばれます。収集されたデータは本部のサーバーに送られ、どの商品が売れているか、どの時間帯に来客が多いかといった分析に利用され、経営の効率化に貢献しています。
問7	答え 1 企業が競争することで、価格が抑えられ、より良い商品やサービスが提供されるようになるから	市場経済では、企業が利益を求めて競い合う過程で、生産の効率化が進み、価格の低下や技術革新（イノベーション）が起こります。独占や寡占によって競争がなくなると、企業は努力しなくても利益を上げられるようになり、経済全体の活力が失われてしまいます。そのため、法的に競争環境を整えることが、結果として消費者の利益につながると考えられています。
問8	答え 1 出荷量が少ない時期は需要に対して供給が不足するため、市場価格が上昇した。	りんごの事例では、出荷量（供給量）が少ない5月から8月に価格がピークを迎えており、これは供給が需要を満たせず品薄になったために価格が上昇したことを示しています。一方、出荷量が最大となる11月頃に価格が最低となっているのは、市場に商品が大量に出回ることで供給過多の状態になり、価格が押し下げられたためです。このように、農産物の市場価格は季節による供給量の変化に大きく左右されます。